

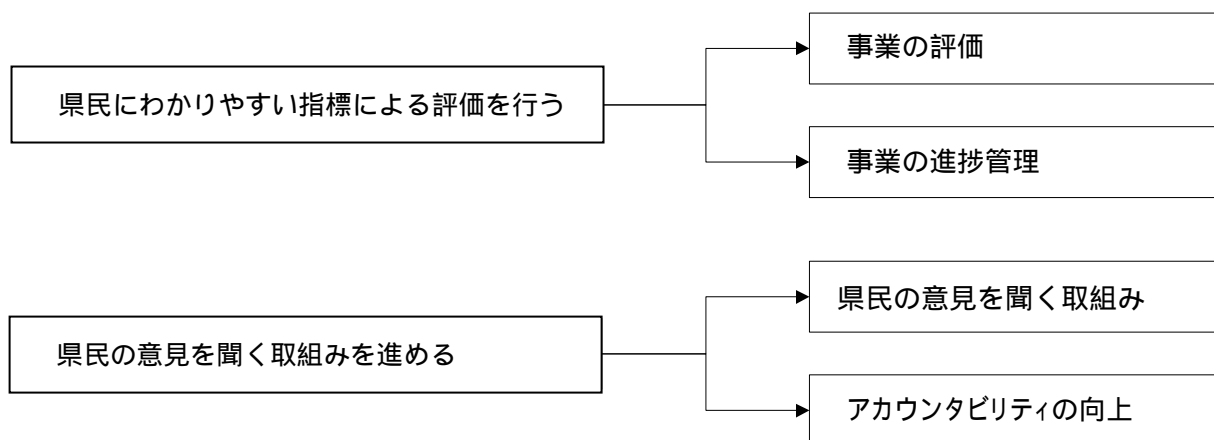
## 「福井の道路を考える地方懇談会」の提言

福井県では、今後の道路整備方針や適正な道路のサービス水準を地域自らが選択して、個性と魅力ある地域づくりを進めていくよう、国土交通省とともに地方懇談会を3回開催し、県内の各界・各層の方々から次のような提言を得た。

### 福井の道づくりへの提言

地方懇談会として以下のように「道づくりの基本的な進め方」と「道づくりの基本方向」を提言する。

#### 道づくりの基本的な進め方



#### 「県民にわかりやすい指標による評価を行う」

道づくりの必要性を明確にするとともに道路事業を効率的に推進するため、事業前、事業中および事業後の評価を行い、整備効果を早期に生み出すとともに整備コストの縮減を進める。

「県民生活の何がどのように改善されるか」に着目したわかりやすい指標（アウトカム指標）による目標の設定や達成度の測定などにより、施策の社会的効果の評価を行う。

上記の効果と費用の評価を計画決定に反映させる。

#### 「県民の意見を聞く取組みを進める」

県民の意見、ニーズなどを道づくりに反映するため、県民の意見を聞く取組みを進めるとともに、広報活動を展開する。また、計画決定の手續の透明性を確保するため、幅広く県民の声を求める県民パブリックコメント制度を活用する。

## 道づくりの基本方向

地方懇談会では有識者の意見、福井県の道路に関するアンケートの結果も含めて議論し、道づくりの基本方向として以下の13項目を提言する。

		主な意見	道づくりの基本方向
国土・地域の再構築	きずく	<ul style="list-style-type: none"> <li>高規格幹線道路も含めて考えた道づくり</li> <li>近畿自動車道の必要性</li> </ul>	大都市圏との交流の促進 (都市圏とのつながり)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>近畿自動車道の必要性</li> <li>県境を越えた広域的な連携の中での道づくり</li> <li>国道27号に着目してもとにかく県下の道路整備が遅れている</li> </ul>	県境を越えた連携の強化 (広域的視点から)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>広域的な市町村合併を踏まえた上での道づくり</li> <li>道路網の整備と市町村合併は大きな関わりがある</li> <li>合併論だけではなくまちづくりも含めた道づくり</li> </ul>	地域間連携の強化(市町村合併の支援) (地域変更から)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>土地区画整理などとの一体的整備</li> <li>北陸新幹線と同時整備を図る道づくり</li> </ul>	地域開発の支援
安全で安心な地域づくり	まもる	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者、車椅子利用者等交通弱者に配慮した道づくり</li> <li>高齢化社会、経済状況を踏まえた道づくり</li> <li>過疎化を防ぐために30分圏構想は非常によい</li> <li>自治体が連携した人にやさしい道づくり</li> <li>交通弱者に配慮した道づくり</li> <li>中山間地域の活性を考えた道づくり(物流も含めて)</li> <li>救急車がきちんと通ることができるような道路整備</li> <li>伝統的観光資源へのアクセス改善</li> </ul>	過疎・高齢化・多自然型居住への対応 (生活の安心感・中山間地域の活性化)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力発電所を多く抱える国道27号の避難道路の確保</li> <li>近畿自動車道の必要性</li> <li>渋滞の回避・渋滞対策を踏まえた道づくり</li> <li>高速道路と一般道の選択の可能性</li> </ul>	複数ルートの確保(選択の多様性の確保)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>雪を抜きにして道づくりを考えるのは不可能</li> <li>雪国福井の特色を踏まえた道づくり</li> <li>除雪が車道を中心に行なわれている</li> <li>社会的にきちんとした排雪システムをつくる</li> <li>除雪の徹底と市民の協力の必要性</li> <li>行政主体の除雪の見直し</li> </ul>	耐雪力の向上 (地域特性として)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>交通弱者が利用しやすい道づくり</li> <li>自治体が連携した人にやさしい道づくり</li> <li>歩行者の視点からみた人にやさしい道づくり</li> <li>バリアフリー化の推進</li> <li>車椅子が通行可能な歩道づくり</li> <li>安全面を考慮した道づくり</li> </ul>	誰もが使いやすいデザインの採用 (ユニバーサル・デザイン)
空間的価値の再生	そだてる	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関のネットワークの改善</li> <li>交通ネットワークでの道路の位置付けの不明確さ</li> <li>トータルネットワークの中での道づくり</li> <li>道の駅、P&amp;Rの整備</li> <li>バスを中心として交通ネットワークをつくる</li> </ul>	公共交通機関との連携・支援 (交通結節点の改善) (乗継ぎ、乗換え)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア・まちづくり団体の道づくりへの参加(花壇など)</li> <li>コミュニティー道路</li> <li>駐輪場の設置</li> <li>電線地中化</li> </ul>	道路空間の利活用 (自動車、自転車、ひと)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの観点からみた道づくり</li> <li>密な連携と発想を柔軟にしたまちづくり</li> <li>道路の計画などについて教育の面からも広報活動を行う</li> <li>除雪の徹底などへの市民の協力の必要性</li> <li>道に対する考え方の変革</li> <li>合併論だけではなくまちづくりも含めた道づくり</li> <li>NPO、まちづくり団体と連携をとった道路整備</li> <li>道路整備に関しての市民と行政の役割分担</li> </ul>	まちづくりとの連携・支援 (地域おこし)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>嶺南、嶺北など地域の特性を活かした道づくり</li> <li>観光入り込み客を見込んだ道路</li> <li>道路標識・案内標識の不足・不明確さ</li> </ul>	観光資源の有効活用への支援 (地域活性、都市貢献)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系に配慮した設計</li> <li>緑を配置したうるおい感のある道路</li> <li>騒音、排気ガスなどの抑制</li> </ul>	環境との調和